

日本建築学会四国支部提案競技

『美しくまちをつくる、むらをつくる』

応募要項

2006年6月

1 提案競技のテーマ

—美しくまちをつくる、むらをつくる—

2 基本的な考え方

〔提案競技の位置づけ〕

建築に関する学術・技術・芸術の進歩発展を図ることを目的とした学術団体である日本建築学会が、2006年に創立120年を迎えることになる。それを記念して学会では「社会とともに・建築」をメインテーマとして様々な事業を企画している。

「提案競技『美しくまちをつくる・むらをつくる』は、それらの記念事業の一環として、四国支部が主催して行う事業である。

〔テーマの考え方〕

「美しい」「美しく」とは、単になんとかきれいである、というのではなく、「人に対して魅力的であるということ、人を惹きつける、行ってみたくなる、そこに居たくなる、住みたくなるような所」であり、「きれいであって、健康で、活気がある、または気持ちが和む、落ち着く」など、様々な要素を持たなければならない。

美しい環境・景観は与えられるものではない。市民・住民の不断の努力によってつくりあげられたものである。

「美しくまちをつくる・むらをつくる」というテーマは、市民の側に主体的に美しいまち・むらをつくらうという意識をもってもらいたいという意味を込めている。市民にそのような意識をもってもらうためには、デザインによってまちやむらはどのように美しくつくられるかが示されなければならない。そのことを、建築・都市デザイナー、建築家などのデザインの専門家、およびそれを目指す学生などがその先導を果たしていかなければならない。さらにこのような意識を子どものときから育てるために、子どもたちにも美しいまちづくりを考える楽しさを味わってもらいたい。

本提案競技は、以上の考え方の上に立って、デザインの持つ力、重要性を社会に対して示す場を設けようとするものである。

3 提案競技の対象

[対象とする地区]

香美市全域

[提案競技を求める対象]

- ☐ 一般
- ☐ 小中学生

4 主催・共催・後援

[主催]

日本建築学会四国支部
香美市及び香美市教育委員会

[共催]

学校法人 高知工科大学
特定非営利活動法人高知まちづくり支援ネットワーク

[後援]

日本建築家協会四国支部
高知県建築士会
高知県設計監理協会
高知県建築士事務所協会

5 応募規定

[一般の部]

課題	「ここにしかない個性豊かな景観とまちづくり・香美市の魅力と美しさ」 写真コンクール
対象地	香美市全域
要求図面等	撮影した写真と、写真への思いを描いたコメントなどを A3 版 (297×420mm) 1 枚以内にまとめること。レイアウト、写真の枚数や大きさ (デジタルカメラ撮影可)、コメントの字数などには特に制限は加えない。
応募資格	特になし (小中学生、高校生、大学生も含む)
応募登録受付	登録の必要はない
提出方法	香美市建設都計課まで持参、又は郵送、宅急便。 住所 香美市土佐山田町宝町 1-2-1 電話 0887-53-3119 作品の裏に住所、氏名、年齢、電話番号を記入。
応募作品受付	9 月 15 日 (金) 15 時まで
表彰式	10 月末頃
審査委員	賀村智 (日本建築学会四国支部長・建築工学研究所代表) 大谷英人 (高知工科大学教授) 門脇慎夫 (香美市長) 原初恵 (香美市教育長) 中島健蔵 (写真家)
賞	優秀賞 1 点 (賞状、1 万円の図書券) 市長賞 2 点 (賞状、5 千円の図書券) 入選 3 点 (賞状、3 千円の図書券)

[小中学生の部]

課題	「私たちが暮らす香美—こんなまちに住みたいな」 絵画コンクール
対象地	香美市全域
要求図面等	四つ切り画用紙（380×540mm）、縦書き、横書きいずれも可。画材として、油絵、水彩画、パステル画、クレヨン画、色鉛筆などのほか、技法としてコラージュや半立体的表現（厚さ 10mm 程度まで）も可。ただし壁面掲示に耐えられるもの。
応募資格	市内の小学校、中学校に通う児童・生徒
応募登録受付	登録の必要はない
提出方法	学校を通して教育委員会まで。 作品の裏に学校名、学年、氏名（ふりがな）を記入。
応募作品受付	9 月 15 日（金）15 時まで
表彰式	10 月末頃
審査委員	賀村智（日本建築学会四国支部長・建築工学研究所代表） 大谷英人（高知工科大学教授） 門脇槇夫（香美市長） 原初恵（香美市教育長） 北泰子（香美市立美術館館長）
賞	優秀賞 1 点（賞状、5 千円の図書券） 市長賞 1 点（賞状、3 千円の図書券） 教育長賞 1 点（賞状、2 千円の図書券） 入選 10 点（賞状、1 千円の図書券）